

# 大野市ゼロカーボンシティ実現ワークショップ

## まとめ

## 2022の現在

### ●大野の宝物、地域資源、可能性

8	<p><b>人</b></p> <p>人が優しい 人情が厚い          中継 子ども達がいて、あいさつがよくできる          同居率が高い 地域の協力が体制が整っている          近所の人が優しい、救急車が来るとのぞきにくる</p>	<p>人が優しくない 人情が薄い          子ども達がいない、あいさつがよくない          地域の協力が体制が整っていない          近所の人が不親切、救急車が来るとのぞきにくる</p>
25	<p><b>自然環境</b></p> <p>地下水 水が美味しい 豊富な水          中野清水、いとよ 地下水が豊か 水が美味しい          中野清水 清流、小川、真名川、清滝川、赤根川          山からの水が多く、飲料水にする          水がよく出る、花もよく育つ。花壇があり、花がいっぱい</p>	<p>水が不衛生、花もよく育たない。花壇がない、花がほとんどない</p>
9	<p><b>農</b></p> <p>野菜を育てている人が多い 美味しい米          野菜 農作物が多くとれる 農地          農作物が美味しい(米、野菜) 種子の産地(米)          美味しい水を利用した米づくり          共同作業で農作物を作っている</p>	<p>野菜を育てていない人が多い 不味い米          農作物が少なくとれる 農地          農作物が不味い(米、野菜) 種子の産地(米)          美味しい水を利用しない米づくり          共同作業で農作物を作っていない</p>
6	<p><b>歴史文化</b></p> <p>村祭りがある 昔ながらの蔵通り 史跡が多い          下庄地蔵 白山神社</p>	<p>村祭りがない 昔ながらの蔵通り 史跡が少ない          下庄地蔵 白山神社</p>
3	<p><b>商業防災</b></p> <p>美味しいごはん屋が多い 商業施設など          災害が少ない</p>	<p>美味しいごはん屋が少ない 商業施設など          災害が多い</p>

## 下庄乾側地区

### ●解決したい地域課題

19	<p><b>人</b></p> <p>住みたくなくなるまぢづくり          人の意識・価値観を変えて行く          人と人の信頼をこれからも          若者と高齢者の会話、昔のことを聞く          高齢者と子どもが交流できる場          少子化、人口減少をとどめる          若者、子どもを増やす          一人暮らし高齢者、助け合う          地元のことをもっと知る          若者にPR</p>	<p>人口流出を防ぐ          少子化対策          地域力の強化          人が集まれる場所          施設入所者対策          観光客が増える          行事がさかん          若者の認知度UP          若者にPR</p>
14	<p><b>環境全般</b></p> <p>空家の活用 河川の汚れをなくす          空家対策 畑や空き地に何か植えて維持する          プラスチックごみの削減 空地や空家の対策          休耕田の活用 各集落の流雪・廃雪          ごみの削減 農地を荒廃させず維持する          ごみポイ捨て禁止 獣害問題の解決</p>	<p>森林を荒廃させず保全する          河川の汚れをなくす          畑や空き地に何か植えて維持する          空地や空家の対策          各集落の流雪・廃雪          農地を荒廃させず維持する          獣害問題の解決</p>
10	<p><b>仕事</b></p> <p>冬場の職の確保 農業後継者 農業収入の維持          若者の雇用の場 職 農業後継者          林業従事者の維持 定年の延長 仕事を増やす          若者が農業に従事できる</p>	<p>冬場の職の確保 農業後継者 農業収入の維持          若者の雇用の場 職 農業後継者          林業従事者の維持 定年の延長 仕事を増やす          若者が農業に従事できる</p>
11	<p><b>交通 商業 防災 その他</b></p> <p>車がなくても移動できる方法 若者の買物場所          廃止寸前の公共交通の維持 店の大型化          高齢者の移動手段 移動手段の確保          高齢者宅の除雪 豪雪災害対策 災害(浸水)対策          ハットダウン 今のままでずっと続いてほしい</p>	<p>車がなくても移動できる方法 若者の買物場所          廃止寸前の公共交通の維持 店の大型化          高齢者の移動手段 移動手段の確保          高齢者宅の除雪 豪雪災害対策 災害(浸水)対策          ハットダウン 今のままでずっと続いてほしい</p>

# 下庄乾側地区

## 2050のライフスタイル

住む	働く	移動する	捨てる・再生する	作る・育てる	休む・遊ぶ	食べる・使う	学ぶ
シェアハウス	職の増加	EV車	食品ロスが少ない	自給自足	自然の中で遊ぶ	自家菜園	リモート授業
ソーラーシステム	農場に従事	カーシェア	ごみの分別、再生資源の活用	生ごみ堆肥→有機野菜→学校給食	山の魅力を生かす	地産地消	AIをフル活用
住宅集約化	働く場所がある	エコカー	生ごみを活用→堆肥化→雇用を生む	畑・プランター野菜づくり	自然を利用した子どもの遊び場	水が地下水、ひねればおいしい水が飲める	エコスクール
マイクロ水力発電	スマート農業	利便性の高い交通	太陽光パネル		多くの子どもが楽しく遊べる場所	空気がきれいで洗濯が気持ちいい!	小学6年、中学3年、高校3年を小学6年、中学6年に
夜の星空がきれい	サテライトオフィス	ドローンで配達	リサイクル				
専門医療	仕事がAI化	電気自動車					
雪おろし不要の家	ITの活用	歩く人が多いまち					
太陽光発電住宅	若者がUターン	デマンドタクシー					
風力発電	野菜の工場化	自動車がなくとも生活できる					
オール電化	大型農業、スマート農業、省エネ・省力化、省人・ロボット化	自動運転で移動できる					
バイオマス（木質）							
親子共同生活							
地域の団地化	農業の大規模化、農作業の機械化	高齢者の交通手段が豊富にある					
収入が少なくても暮らせるまち	農業で稼げるしくみ、体制→学校給食	空飛ぶ自動車（行き来が楽）					
空家を活用した移住定住							
屋根雪が自然にとけてくる家	若者が市内で勤め、地元に着						
保温性の高い衣服 暖房節約	IT企業、データセンター、コールセンター						
その他							
集落の団結力を高める		まちぐるみの取り組み	結婚者が多くなる				友達がいる
		子どもが多い	助け合える				健康なからだ

# 2022の現在

# 大野小山地区

## ●大野の宝物、地域資源、可能性

6	人が優しい 人と人のつながり	結の心・精神 人柄	地域住民の つながり
44	高齢者が昔の川を伝える 盆地・山々 雪が降る 自然が豊富 静か 飲める地下水 森林の多さ CO2吸収 夏が暑い 土地が広い 豊富な地下水、まちのあちこちに湧水 水源がある 登山できる山が多くて楽しい 山が四季を通じて素晴らしい	湧水・地下水 空気がよい 川の水が豊富 真っ暗な夜 きれいな川 空地・空家 歩けるまち イトヨの住める環境 空気がきれい、星がきれい 自然が豊富 希少な生物	森林が多い 夜空・星がきれい 4つの一級河川 緑が多い 雪が豊富 雪(雨)、積雪 荒島岳 希少な生物 盆地のよさ 美味しい水 希少な生物
6	農地が多い 空いている田畑が沢山ある お豆腐、里芋が美味しい		有機野菜 里芋(食べ物) 豊富な水田
10	朝市 古い町並み、高い建物がない 発酵文化、伝統食品 まちの中心に亀山がある	報恩講などの文化 歴史のない町並み 発酵文化、伝統食品	小京都 歴史的な町並み 天空の城 城下町
8	ごはんが美味しい、飲み屋が多い 降雪期の除雪機が素晴らしい コンパクトなまとまり		ホルモンが美味しい 強風をさえぎる盆地 生涯学習



## ●解決したい地域課題

12	移住者の確保 Uターンを増やす 若者の県外流出、人口減少対策 元気な高齢者を増やす 地域の役員の偏りをなくす	少子高齢化対策、若手人口の増加 交流人口の増加 民生委員のなり手 人とのかわり方 地域行事に参加する 人を増やす
30	未使用の土地・家の活用 子ども達に自然と共に生きる教育 光害対策 地下水保全 グループで野菜づくり 河川の美化 空家対策 湧水を増やす CO2削減対策 降雪時における流雪溝の水 官民共同で食品ロス削減	公園にきれいなトイレ 豊富な水の保全 川と水路のまち 川の生き物を復活 水力発電の可能性 不燃物対策 自然のよさを知る イトヨの環境 森林資源の活用 雪の有効活用
9	企業誘致だけでなく地元企業の若者雇用 産業の活性化 農林業者の高齢化対策	独自産業 商業後継者 働き口、雇用の場
9	交通弱者の支援 自分の足で歩くことを楽しむ 京福バス・越美北線	市内循環タクシー 車社会の解決 ウーバーイーツ 使用する施設に合わせた送迎バス
8	大雨大雪等災害の激甚化、頻発化対応 市民のエコライフ行動変容、教育 公共施設老朽化	情報弱者支援 地球温暖化教育 地元で買い物



# 大野小山地区

## 2050のライフスタイル

住む	働く	移動する	捨てる・再生する	作る・育てる	休む・遊ぶ	食べる・使う	学ぶ
結の精神	オンラインリモート	自動運転バス	フードロス削減	自宅近くの空き地で農業	登山	地産地消で輸送CO2削減	大野にいてオンラインで誰でも学べる
子だくさん	ワーケーション	公共交通	生ごみを肥料化して生かす(個人、集落)	家庭菜園	登山ルートの整備	手づくりのものを食べる	オンライン授業の充実
エコハウス	スマート農業	テマンド対応	ミズでごみ減量	やぎを飼いたい	山、川、森でつくるアドベンチャーランド		
ソーラーLED・防犯灯	農林業振興	徒歩・自転車通勤	プラゴミ削減	無添加、減農薬による野菜づくり	キャンプ	CO2削減ポイント	図書館の閉館を遅くして読書を増やす
雑木林・里山暮らし	独自産業を確立	高齢者や観光客のための電動タクシー	ペーパーレス化	地下水を利用した美味しい農作物	森のハンモックで休日カフェ	安全安心な食材	リモートで学べる
皆で協力して暮らす	副業で所得が安定	レンタルバイク、無料自転車の貸出	家庭ごみの有料化	美味しい農作物	森林浴	フードマイレージ対策(地域の食材を多く取り入れる)	電子機器の利用(例：アイパッド)
エネルギー自給	各年代がそろう会社	自動運転の電動バス、e-bike等の足の確保	リサイクル	森林再生	ヘルス・ウェルネス	小売店の充実	昔の話を聞く
地中熱、太陽光、風、自然でエネルギーを生む家に住む	付加価値のある自然で商売ができる	充電スタンドの普及	再生可能なものは全て利用する	未利用農地を減らす(集約化)	ツーリズム	グリーン消費	生涯学習活動が活発にある
シニアハウス	若者が働く会社が多くある	市街地の移動は電気自動車	プラゴミを回収人にあげる(捨てない)		農泊体験ツアー		高齢者がフレイル予防に積極的に取り組む
屋根雪下ろしをしなくてもよい家	ボランティア活動が分野別にある	自転車専用レーンの整備と日常的活用			自然の中で遊ぶ	地元の良い食材を安心して食べる	子ども達が地域のことを学び、誇りを持つ
ソーラー発電の家	未利用農地を集約して企業誘致	居住地と車道分離による人の生活優先			親から子へ昔を教える	ウーバーイーツ	親子で川に行く、川に親しむ、川を学ぶ
子ども達が見守られる	働く場所を増やす	地域で使えるマイクロボス			伝統文化の継承	安心で美味しい野菜をいつまでも食べられる	少人数学級
家並みがそろったまち		担い手の確保(タクシー)			公園、図書館	すぐ美味しい米が生産される	子ども達が地域のことを学び、誇りを持つ
移住したくなるまち		車がなくとも困らない移動システム			公共施設の建設		親子で川に行く、川に親しむ、川を学ぶ
地下水の利用							大野市ならではの大学の
スマートLEDの設置	小水力発電利用						何歳になっても誰でもチャレンジできる
効率的な除雪環境	自家発電で全て賄う						
ごみ処理センターの排熱を集合住宅で	風呂の水を流雪溝に						
雪・水の利用、雪室	エコな融雪システム						
空家に住む	ヒートポンプで融雪						
夏に風通しのよい家	コンパクトシティ						
小水力発電利用	みんなが寄り添う空家ゼロ						
					その他		
					治水・利水だけでなく環境重視		
					小さな川にもガードレール		

# 2022の現在

## ●大野の宝物、地域資源、可能性

7	人	地域の協力体制 地域の協力 住民みんなが顔見知り	人情 やろうと思えば何でもできる	地域のつながり 地区民の連携
34	自然環境	空気がきれい アウトドアのできる環境 動物がたくさんいる 動物（サル、カモシカ、リス、クマ） 小水力発電 川がきれい スキー場 冬の星空 水 自然と一緒に生活	星がきれい 豊かな森林 熊（動物が多い） 新緑 水が豊富できれい ダム 自然とやすらぎ 星空がきれい	雪が多い 森林が多い 水がきれい 豊かな自然 紅葉 アウトドアスポーツ 景色がよい 河川 四季がはつきり 利用できる土地
5	農	野菜が美味しい 穴馬スウィートコーン	自給自足、野菜など 食べ物が美味しい	農業と特産物
1	交通	中部縦貫道が開通し移動が便利になる		

# 和泉地区

## ●解決したい地域課題

15	人	若者の定住 人口減少対策 若い世代の人口流出対策	少子高齢化対策 過疎化対策	定住促進 限界集落対策 若者の定住
7	環境全般	空家対策 荒地地の活用 山林の急峻（傾斜が険しい） 放棄された田畑の保全	空家の取り壊し、活用 不在村者所有の山林の保全活用 遊休地の活用	
4	仕事	農林業後継者 農業者の確保	働く場所を増やす	仕事をつくる
8	交通	交通網整備 越美北線の存続 交通、買物支援	車依存からの脱却 高齢者、車がない人の移動手段 公共交通対策	
3	その他	医療の充実	雪による交通障害対策 冬季の通行止対策 娯楽を増やす	除雪作業対策

# 和泉地区




## 2050のライフスタイル

住む	働く	移動する	捨てる・再生する	作る・育てる	休む・遊ぶ	食べる・使う	学ぶ
省エネハウス	森林組合で働く	移動の自動化	生ごみの再利用	夏冬、通年型の農業体系	木を使った子どもの遊び場	地産地消推進	子ども自身が興味のある学問や物事に好きに学べる教育
ZEHの実現	テレワーク	カーシェアリング	コンポストを畑で使う	クラインガルテン	ダム湖の利活用	無理しない範囲で自給自足	
薪ストーブを使う	リモート化	公共交通手段を エンドレスに (例：山手線)	食品ロスをゼロに 生ごみは畑に！	市民型農地	サイクリングを楽しむ	特産品を使って映えるデザート	子どもの自主性を重んじる教育
省エネ家電	通勤エリア拡大		分別収集の徹底	花と香りのまちづくり	エコツアー推進		
空家の再生	楽しむ農業		ごみのエネルギー化	畑をもっと一生懸命できるように	アウトドアイベント		自然学校の開設
空調の省エネ化	下山のケビンでワーケーション	エコカーで移動	ごみを出さない	農薬の削減	R158をサイクリングロードに		山の学校
ノンフロン化	農業従事者に農地集約化を委託	ご近所と一緒に お買い物	取り組み	市場に出せない野菜で加工品づくり	登山		山村留学
家屋の縮小		越美北線の 燃費向上化		地区民で作物を作り、皆で食べる	屋外コンサート		化石探し
エコハウス		通勤距離拡大 のための交通		地産地消	キャンプ場整備		他県の学校とWEB授業
電化推進		地区民による 移送支援		夏や野菜づくり 冬は除雪作業	山全部スキー場		学びの特化 (個性を出す)
温かい家					ツチノコ探し		学校の分散化 (統廃合しない)
冬期間の シェアハウス					伝説づくり		DX推進
集合住宅の建設					ダム湖のネッシーづくり		デジタル化に対応した教育の実現
					奇祭づくり		学校の部活 スキーに特化して 選手育成
	その他						
小水力発電で 公共の集会場の 電気を賅う	森林や耕作放棄地 国や自治体所有に	災害時の情報網 の強化					
雪の活用	交流人口の拡大	相互扶助					




## 2022の現在

## 富田五箇阪谷地区

### ●大野の宝物、地域資源、可能性

17		美味しい地下水 水が豊富 日本一の星空 水がきれい 緑が多い 豊かな水資源 雪がある 	美しい山々 森林 化石 森が沢山ある（営林） けっこう絶景スポットがある 都会の人には魅力的な自然 けっこう希少な生き物がいる 	日本一の星空 大量の雪 
5		農業スキルを持った一般人が多い おそばが美味しい 	農業用地が多い 農地が広い 	七間朝市 越美北線 スキー（レジャー） 
7		自給自足 	農地が広い 	魚が新鮮 発酵食品、酒 

### ●解決したい地域課題

5		過疎化・若年人口減少対策 独居で亡くなると気づかれないかも（自治会もない） 脱炭素に向けてがんばらざる人を増やす 大学を作り、若者があふれるまち 	少子化対策 
9		水資源の利用 小水力・小型風車 林業後継者が育つ環境 空家対策 水資源活用の再生可能エネルギー 	緑のグループワーク（草取り、間伐等） 農業体験（観光） 屋根雪下しの人材確保 
2		古民家のヒートショック対策 	地元企業への就職、魅力ある会社づくり 働きやすい保育園等 
3		車以外の交通手段 EVシェア観光用途（自転車も） 	免許返納後の交通手段 
2		病院までの距離、産院問題 地域行事 	



# 富田五箇阪谷地区

## 2050のライフスタイル

住む	働く	移動する	捨てる・再生する	作る・育てる	休む・遊ぶ	食べる・使う	学ぶ
廃校を労働者の賃貸アパートに	週に1日、まちの活動(教える、農業、掃除等)	越美北線の自転車持ち込みOKに	リサイクル会社(半公営)	1坪農地 全国募集	木の遊具 星空ブランドを確立	地産地消	市として 林間学校等の開催
高齢者の集合住宅(昔風の長屋)	農業公社(半市営) 大野の特産物	自動運転EV 観光用	バイオマス発電(生ごみ、残さ、糞尿)	子育てしやすい環境補助のあるまち	祭り参加ツアー(まちで企画)	結のさと商店の独自商品を売り出す(もちろんエンシカル)	学校再編ではなく 少人数のスキン シップ教育
空家を大手企業のリモートワーク施設に	おばあ様の職場(ボランティア)としての保育園	スクールバスと市内バスを兼用する	雪を利用した 発電システム	ブランド米の発足・研究、農業活性化	太陽熱を利用した あっ宝んど2	そば・餅・芋、田舎ならではの料理	大野の自然を生かした大人の修学旅行
一家に一台 薪ストーブ		自動運転のEVを シェア		畑マイスターが市街地の の人に畑を貸して教えてくれる	森林を利用した 観光施設で 自然エネルギー利用		宿泊先は空家で オオノライフを満喫
小水力発電による ゼロエネルギー住宅	働く場所 DX化	オンデマンドバス					
雪の地下貯蔵による 集中冷房	高齢者の働く場				歩こう会、自然観察 会、夜空を見る会 (全国から)		環境教育で 脱炭素を学ぶ
生活が便利な地域に 高齢者集合住宅	空家をリフォームし若 年者に安価で貸すこ とで労働力を確保						野鳥やイトヨ、アラレガ コ等、天然危機種の 研究、学部づくり
古民家改修のWS	林野庁が林道 を整備		その他				
リバーズ60のような ローンで家を リフォーム		灯油ボイラーを電気 等に切り替える	大雪が降らない地域 は太陽光の保障を	小水力事業の利益が 地元に残るように 薪キュート	学校のエネルギーは 学校の屋根で ソーラー発電		

## 2022の現在

### ●大野の宝物、地域資源、可能性

人	5	人とのつながり 人のつながりが強い	地域の協力 子ども達が安全安心に遊べる	人情味のある人々
	33	豊かな水 (減少傾向にある) 水 平地が多い (広い)	森林が多い	多くの土地 豊かな緑 豊かな自然
自然環境		木質廃棄物 (ファーストウッドから)	水が豊富	非農業期の給水路
		豊かな自然 (水・星・山々) きれいな水 星空	きれいな空気 地下水	平らな土地がある 川下の湧水 野菜が多い 森林、河川
農	8	稲わらの利用 水と雪	ゴミを捨てやすい 地下水が使える	土地が広い 空気、星空、環境
	7	自給自足しやすい 上庄里芋 豊富な農地	田畑 豊かな農地 農作物	農地が沢山ある 名水を生かした食
その他		観光資源に恵まれている	観光 (城下町、鳩ヶ湯、荒島岳、中島公園) バイオマス発電	高層建物が少ない 融雪装置が進んでいる
		ITとカーニュートラルの共生		伝統的な歴史文化

## 上庄地区

### ●解決したい地域課題

人	18	人口減少対策 少子高齢化対策	高齢者だけの世帯への対応 若者の市外流出対策
		少子化・若者減少対策 地域で協働して作業する 市民一人一人の意識改革 住む場所を誇りに思う気持ちの醸成	人口流出対策 高齢化対策 若者の定着
環境全般	14	雪対策	空家対策、活用 排気ガス対策
		子どもが楽しめる遊び場 耕作放棄地を地域で活用 森林荒廃対策	梅の木などの植林 耕作放棄地の活用 剪定枝の野焼き
仕事	8	働く会社を増やす 農業の担い手減少対策	必要以上に作物を作りすぎない 儲かる農業のしくみ 農業後継者対策
	7	農業人口の減少、ノウハウ伝授 交通弱者の支援	魅力的な職場 公共交通の利便性向上 電車が使いやすい向上
交通		狭い道対策 移動手段の確保	一人暮らし高齢者の移動手段対策
		大人の数より多い車の台数対策	
その他	14	脱炭素への取り組み活発化	水と太陽光の共生
		若者に魅力的な施設 広すぎる家、寒すぎる家対策 エアコン稼働率改善	経済流出 (福井へ) 対策 使わない小屋、納屋 バイオマス発電の取り組み
		若者にウケる観光スポット デジタル通信環境 (5G)	道路補修と連携した発電 再生エネルギー導入の環境整備、施設整備

# 上庄地区

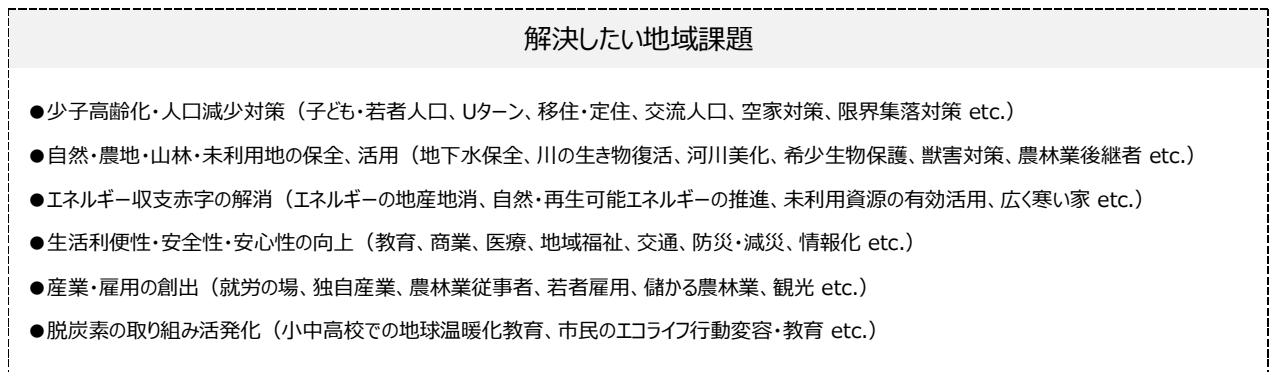
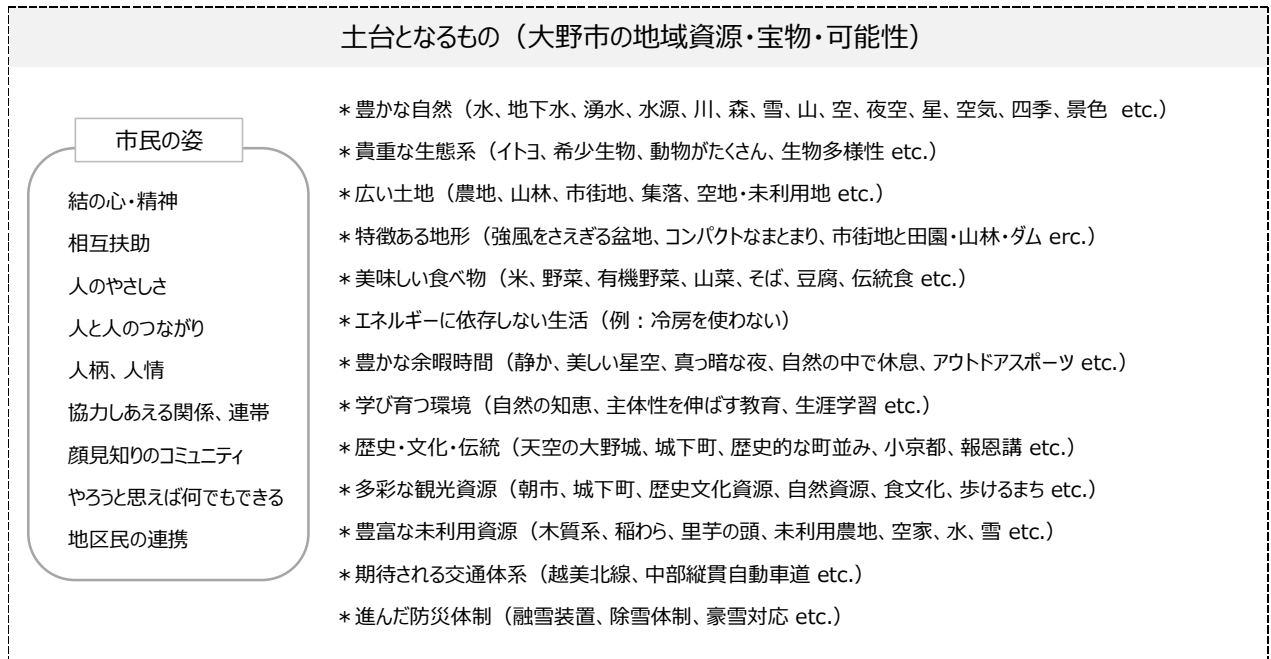
## 2050のライフスタイル

住む	働く	移動する	捨てる・再生する	作る・育てる	休む・遊ぶ	食べる・使う	学ぶ
集中して住む	エコ産業の創設 (儲かる)	通学生徒の希望の電車時刻を反映	捨てるの分別、再利用 (何でも捨てない！)	二酸化炭素を吸収する植物を育てる	趣味に打ち込める 自然にあふれた広い公園	地産地消 特産品を売る	地域の魅力を自分達 で探す授業
自然を身近に感じる	森林を活用した職場 仕事場所に選ばれない働き方 (田舎で できる)	地域が家族、声かけ タクシー (乗り合い) 電気自動車	物を買わせるためのコマ マーシャルをやめる 雪を氷室に (観光資源として)	農地を貸して自給自 足の拡大 植林をする 荒廃、不耕作地の緑 化、公園	観光農園 アスレチック 自然を活用した 遊び場整備	昔から伝わるからだけに よいメニュー	エコ産業を学ぶ大学
自家発電	非正規雇用を減らす 市外から人が来る職 場	雪から水素を作る水 素ステーション EVの普及	雪を氷室に (観光資源として)	植林をする 荒廃、不耕作地の緑 化、公園	アスレチック 自然を活用した 遊び場整備	若者も試しやすいタイ プの特産品	小学生がドローン を学ぶ
空家の利活用	空家を高齢者施設に 設ける	サイクル自転車 シェアリング 公共交通機関 のエコ化	ゴミの再資源化 地下水の熱利用ク ローズドループ	自家菜園で 道端販売 植林拡大 里芋の規格外親芋で バイオマス発電	キャンプ場の事業 拡大 都市部で働き、休日 は地元で休む	家庭での専用畑 エコポイントをお金に かえるしくみ	リモートで学ぶ 農業学習学科 星空観察
再生エネだけで暮らす るシェアハウス	電動自動トラクター 電気自動コンバイン	公共交通機関 のエコ化	生ごみ堆肥化 食べ残しゼロ プラゴミゼロ 環境美化	バイオマス発電 リースルーパーネル利用 の温室	都市部で働き、休日 は地元で休む	野菜くずを活用した料 理教室	脱炭素の教育環境 整備、人材育成
エコなストープ (木質 ペレット)	リモートワークができる 仕事が普及	自然の中の サイクリング	ミズのコンポスト (生ごみ処理)				
家にソーラー発電と蓄 電池	農作業を共同で行う 農林作業ワーク の拡大	区民の共助、会話 サイクルトレイン ドローン宅配					
自然の中で生活							
40年前の生活復帰	ソーラーエネルギー 利用	EV車で共同で通勤 公共交通の進化					
住宅用新型パネルの 開発	核融合への取り組み と施設の誘致						
パネルロード (米国や フランスの例)	中山間でも使える安 価なスマート農機 農業のドローン化						
夏にエアコンを使わず に生活できる涼しい 環境							
除雪を必要としない 融雪装置の進歩							

その他	
市民発電所による太陽光発電	水素等の安全性の高い再生エネルギー
太陽光発電の融通 (昼間使用が少ない家庭の電力を公共施設に)	ソーラーパネル、水力等の充電施設の整備
医療にすぐかけられる (病気、介護)	

## 4. 全体まとめ

### 大野市ゼロカーボンシティ2050ワークショップまとめ



**2050のライフスタイル（めざすゼロカーボンシティのイメージ）**

<b>① 住む</b>	自家発電 エネルギー自給	ZEH エコハウス	シェアハウス 冬季、通年	薪ストーブで あたたかい家	屋根雪が 自然に落下	コンパクト シティ	雪・氷の利用
	ソーラーLED ソーラー防犯灯	夏涼しい 風の通る家	効率的な 除雪体制	ごみ焼却熱 の利用	親子共同 地域団地化	雑木林・里山 の暮らし	オール電化
	家屋縮小	省エネ家電	空家活用	温かい家	集合住宅	空調省エネ ノンフロン化	地下水 ヒートポンプ
	家並みが そろそろ	子だくさん ・見守り	結の精神	若者が住みた くなる家	集落の団結 力、助け合い	エコな融雪 システム	小水力利用 風力利用
	集中して住む	空家で企業のリ モトワーク	雪の地下貯蔵 で集中冷房	古民家改修 のWS開催	自然を身近に 感じる住まい	40年前の 生活回帰	エアコンレス
	廃校で就労 者アパート	小水力でゼロエ ネルギー住宅	生活の便利な中心市街地 に高齢者の集合住宅		県外移住者のための空家 活用エコリフォーム		ソーラー発電 と蓄電池
	除雪を必要と しない融雪装置	夏、エアコンなしで生活 できる涼しい家		パネルロード (海外の例)	一家に一台エコ なストーブ	空校舎を高 齢者施設に	再エネだけの シェアハウス
<b>② 働く</b>	農林業従事 者の維持	スマート農業	IT企業	若者が 働ける	リモートワーク 環境の対応	ケビンでワー ケーション	サテライト オフィス
	副業で安定	自然の付加 価値活用	未利用農地 の活用	省エネ再エネ の雇用	楽しい農業	農地集約化 大規模化	独自産業

②働く	週に1日まちの活動 (教える、農業、掃除等)		農業公社(半市営)で 大野の特産物		DX化	林野庁が林道を整備し、 林業従事者を増やす	
	空家を回収し、若年就労者 に安価で賃貸		中山間地で使える安価な スマート農機		電気自動トラク ター、コンバイン	田舎でできる仕事場所にし ばられない働き方	
	森林を活用し た職場	儲かるエコ 産業の創設	非正規雇用 を減らす	農作業を 共同で行う	ソーラーエネ ルギー利用	農業の ドローン化	農林作業 ワーク拡大
③移動する	EV車	カーシェア	エコカー	ドローンで 配達	自動運転車	デマンド交通	自転車道・ 歩行者優先
	越美北線で自転車持ち 込みOK		観光用自動 運転EV	自動運転EV のシェアリング	スクールバスと 市内バス兼用	公共交通の エコ化	自然の中で サイクリング
	オンデマンド バス	通学生徒の希 望電車時刻	地域が家族 声かけ乗り合いタクシー		サイクル自転 車シェア	サイクル トレイン	EV車で共同 通勤
④捨てる・再生する	ゴミ分別 再資源化	生ごみ堆肥 化	食品ロスが ない	プラゴミ削減 プラゴミゼロ	人にあげて 有効活用	ごみのエネ ルギー化	家庭ごみの 有料化
	半公営リサイ クル会社	バイオマス発電 (生ごみ、残さ、糞尿)		雪を利用した 発電システム	雪を氷室に (観光資源)	地下水の熱利用 クローズドループ	
	ペーパーレス	食べ残しゼロ	環境美化	ミズ コンポスト	何でも捨てず に再利用	買わせるコマ ーシャルをやめる	人にあげて 有効活用
⑤作る・育てる	家庭菜園 クラインガルテン	無添加・無農 薬・減農薬	地下水利用 の農作物	夏冬通年 農業体系	花と香りの まちづくり	付加価値の 高い加工品	地産地消 自給自足
	CO2吸収植 物を植える	農地を貸して自 給自足拡大	荒廃、不耕作地の 公園化・緑化		規格外里芋 頭で発電	シーブルーパ ネル利用温室	1坪農地 全国募集
	畑マイスターが市街地の人に 畑を貸して教えてくれる		ブランド米の 研究開発	自家菜園で 道端販売	植林拡大	市場に出せない野菜で 加工品づくり	
	皆で作 り、皆で 食べる	やぎを飼 う	未利用農地 の集約化	森林再生	自宅近くの空 き地で菜園	生ごみ堆肥→有機野菜 →学校給食	
⑥休む・遊ぶ	木を使った子 どものおもちゃ	自然の中 でのびのび遊ぶ	山の魅力 を生かす	登山・キャン プ・森林浴	屋外コンサ ートアウト イベント	森のハンモ ックカ フェ	ヘルスウェ ルネスツ ーリズム
	農泊体験 ツアー	ダム湖の 利活用	伝説づくり 奇祭づくり	ツチノコ探 しダム湖 ネッシー	親から子へ 昔を教 える	キャンプ場 スキー場	サイクリ ング・専 用道路
	観光農園	都市部で働 き休日は地 元で	自然活用の 遊び場整備	自然あふ れる広い 公園	星空ブラン ドの確立	太陽熱利用 のあったか らんど2	木の遊 具
	歩こう会、自然観察会、星空 を見る会(全国から募集)		森林を利用した観光施設 (自然エネルギー利用)		祭り参加 ツアー企画	山・川・森で つくるアド ベンチャー ランド	
⑦食べる・使う	生ごみ堆肥 で有機野菜	地産地消 ポイント	CO2削減 ポイント	グリーン消費	フードマイ レージ対 策	地元のも ので安心 手づくり	特産品 で映える デザート
	からだによ い昔のメ ニュー	ひねれば 美味しい 水が飲め る	若者向け の特産品	エコポ イントを お金に換 える	野菜く ずの料理 教室	結のさと 商店でエ シカルな オリジナル 商品	
	そば・餅・ 芋・田舎 料理	自給自足 & 家族み んなで食 べる		空気がさ れいで洗 濯が気持 ちいい!		生ごみ堆 肥→有機 野菜→学 校給食	
⑧学ぶ	山の学校 山村留学	自然学校 自然を学 ぶ	地域や昔 から誇り を育てる	子ども の特性、 主体性	オンライ ンリモ ート	DX、他 県とWEB 授業	学校分散 化
	エコスク ールエコ ツアー	地域の 魅力自 分で探 す授業	生涯学 習フレ イル予 防	部活で スキー 選手育 成	何歳 でも誰 もが チャレ ンジ	デジ タル化 AIの 活用	少人数 のスキ ンシッ プ教育
	野鳥、イ トヨ、ア ラレガ コなど 天然危 惧種の 研究、 学部 づくり	エコ産 業を学 ぶ大 学		脱炭 素教育 人材育 成	星空 観 察林 間学 校	大野の 自然を 生か した大 人の 修学 旅行	
⑨その他	集落の 団結相 互扶助	治水利 水+環 境重視	交流人 口の 拡大	小水力 発電を 地域利 用	森林や 耕作 放棄 地公 的所 有	災害 時の 情報 網	健康な からだ 友達・ 子ども 達
	市民発 電所で 太陽光 発電	水素等 安全 性の 高い 再エ ネ	化学物 質の 影 響の ない 自然	太陽光 発電の 融通 (昼間 使用 が少 ない 家庭 電力 を公 共施 設へ)		医療 にす ぐか か れる	薪キ ュー ト
	小水力 事業の 利益が 地元 に落 ちる よう に		灯油ボ イラー を電 気(再 エネ) 等に 切り 替 える		大雪 が降 らな い地 域は 太陽 光の 保 障を		学校 のエ ネ ル ギー は太 陽 光

## 5. 全体考察

### 1) 住む

大野市の住まいの特徴として、夏涼しい家、歴史的な町並み、趣ある古民家等の特徴がある一方で、除雪の負担、特に屋根雪降ろし、冬場の寒さ、ヒートショック、一人暮らし高齢者や空き家の増加など様々な問題が考えられます。

2050 ゼロカーボンシティの目標としては、除雪の負担や危険を減らすしくみ、断熱性が高く、地域資源を生かせる薪ストーブなど再生可能エネルギーの利用、熱効率のよいコンパクトな家、歴史的な町並みや家並みに調和したエコハウス、一方で、見守り、助け合い、安心して暮らせる集合形態の家、シェアハウス等が期待されます。さらに、移住・定住を促進するため、市内外の若者や子育て世代が積極的に暮らせる魅力的で省エネ再エネを備えた家も期待されます。

### 2) 働く

大野市の就労に関わる特徴として、就労人口の市外流出、農林業後継者の減少、就労の場の少なさによる若者の定住人口の減少等が問題と考えられます。

2050 ゼロカーボンシティの目標としては、スマート農業など魅力的な農業環境、林野庁等の林道整備による効率的な林業環境を充実し、脱炭素に貢献する重要な基幹産業としての価値を高めるとともに、コロナ禍において社会に浸透したリモートワーク、ワーケーション等を大野市の豊かな自然環境の中で実現する「職住一体型のライフスタイル」として確立していくことが期待されます。これら産業のあり方や就労のあり方は、DX化の進展に伴い、一層社会環境の整備が進むことが期待されます。

### 3) 移動する

大野市の交通環境の特徴として、決定的な車社会による温室効果ガスの排出、交通弱者、特に免許返上後の高齢者の移動の問題等が深刻化していると考えられます。

2050 ゼロカーボンシティの目標としては、再エネを活用したEV車の普及とともに、カーシェアリングによる温室効果ガス排出の削減、一方で、コミュニティレベルの送迎サービスや乗り合い活動、オンデマンド交通など地域の規模に合った効率的なしくみによる魅力的な移動のしくみを生み出していくことが期待されます。さらに、越美北線については、脱炭素社会の重要な公共交通として、また観光面での可能性も含め、沿線自治体や沿線住民と力を合わせて有効活用し、守っていくことが期待されます。

### 4) 捨てる・再生する

大野市においても、生ごみ、食品ロス、プラスチックゴミ等をはじめとする様々な廃棄物問題があります。また、冬場の雪、農林業で排出される未利用資源の有効活用も課題と考えられます。

2050 ゼロカーボンシティの目標としては、大野市の環境を生かし、生ごみ堆肥化による有機農産物の生産、学校給食での活用、生ごみ回収と堆肥化における雇用の創出などが期待されます。また、籾殻、稲藁、里芋の規格外頭など様々な未利用資源を生かしたバイオマス利用の推進も期待されます。さらに、雪の利用として氷室での食料や地酒の保存等の取り組みは観光面での魅力も期待できます。

## 5) 作る・育てる

大野市の土地や景観に関する特徴としては、未利用農地、耕作放棄地、空き家、空き地の問題が増加しています。一方、かつての里山に根差した生活様式は、薪炭から化石燃料へと変化したエネルギー革命によって変容しました。

2050 ゼロカーボンシティの目標としては、地産地消によるフードマイルージ対策として、農家の畑マイスター制度を創設し、畑を持たない市街地居住の市民に未利用農地を貸して畑づくりを教えることで家庭菜園を普及させるとともに、まとまった農地はクラインガルテンとして整備し、皆で作り、皆で食べるコミュニティ空間にすることも期待されます。一方、空き家、空き地には植林を進め、まちなか緑化を推進するなど、脱炭素と景観整備が両立するしくみが期待されます。里山の生活様式については、薪炭など自然を生かしたエネルギー利用の価値を再認識し、雑木林を育て生かす活動が期待されます。一家に一台、薪ストーブ設置という提案はその一つと考えられます。

## 6) 休む・遊ぶ

大野市では、豊かな自然環境のもと、美味しい水、食、河川、山々、森林、雑木林、里山、空気、星空、景観、四季、生物多様性など、かけがえのない様々な財産を有しています。

2050 ゼロカーボンシティの目標としては、これらを最大限生かして、市民や滞在者、訪問者の生活の質・人生の質（QOL）を高めることが期待されます。ワーケーションはもちろんのこと、コロナ禍でも安心して過ごすことのできる、ゆったりとした環境下で疲れを癒やし、家族や仲間と、また一人でリラックスして過ごせる場となることが期待されます。スキー、登山、キャンプ、釣り、その他、様々なアウトドアも魅力です。環境に負荷をかけずに休み、遊べる環境は、脱炭素社会を支える重要なライフスタイルの一場面を担う空間として期待されます。

## 7) 食べる・使う

大野市は、既に述べたように恵まれた自然環境のもと、美味しい食や豊かな地域資源に恵まれており、食の自給自足、エネルギーの自給自足の可能性が高いまちです。

2050 ゼロカーボンシティの目標としては、昔からの知恵や伝統にもとづく郷土料理、せせらぎにまわる芋洗い水車など風情ある味わいや光景がいつまでも続くまちを市民の手で守り続けていくことが期待されます。また、上述した通り、地産地消や資源循環、未利用資源の有効活用等の可能性を最大限に生かした持続可能な消費のあり方が期待されます。

## 8) 学ぶ

大野市の豊かな環境は、自然、地域資源、地域社会等から学び、主体的、自立的な生き方の土台を築くための教育の可能性を有すると考えられます。特に、食やエネルギーの地産地消、自給自足においては、こうした豊かな環境下で学ぶことのできる知恵や技術が不可欠です。

2050 ゼロカーボンシティの目標としては、自然学校、山の学校、山村留学、ファームステイ、自然エネルギー学校等の体験学習を通して、知恵や技術を学ぶとともに、地域で自立的に生きる実践力をつけることが期待されます。地元子ども達が日常の豊かさを通して学ぶことはもちろん、コロナ禍で密な環境が敬遠され、地元重視の傾向が高まる小中高の修学旅行、また、大人の修学旅行の提案からも、本市でなければ体験、経験できない魅力的な特性を生かした多様な学びの場が大きく期待されます。

## 6. 脱炭素×地域課題（例）

### 大野市の地域資源×解決課題×脱炭素 = 2050の未来像（例）

2022		2022		→→→→		2050
大野市の宝 地域資源	×	解決したい 地域課題	×	脱炭素の 取り組み	=	実現したい 幸せな未来像
豊富な森林	×	林業従事者確保	×	CO2吸収源の拡大 エネルギー自給	=	エネルギー自給& CO2吸収&雇用
広い未利用農地	×	未利用地の 有効活用	×	フードマイレージ の解決	=	豊かな田園景観と 自給自足
広い農地と農業	×	生ごみ処理軽減と CO2抑制	×	生ごみ処理で発生 するCO2削減	=	堆肥化で資源循環 の有機農業
豊かな清流	×	エネルギー収支 の赤字解消	×	小水力発電で エネルギー自給	=	エネルギーの 自給自足
人と人のつながり	×	一人暮らし高齢者 の安全安心	×	住宅にかかる エネルギー節約	=	シェアハウス 集住で安心&省エネ
伝統的な町並み	×	中心市街地の 空洞化対策	×	住宅にかかる エネルギー節約	=	中心市街地の景観 調和型エコハウス群
豊かな自然	×	子ども達の豊かな 学び&遊ぶ環境	×	自然の力・知恵・ 技術の学習	=	エコスクール・自然 学校・山村留学
広い市域	×	交通弱者の 利便性確保	×	移動にかかる エネルギー節約	=	オンデマンド& カーシェアで移動
広い市域	×	少子化に対応 した学びの環境	×	学校施設にかかる エネルギー節約	=	学校再編で省エネ エコスクール
豊かな環境 美味しい食べ物	×	仕事&余暇の両立	×	田舎&仕事の両立 通勤の省エネ	=	ワーケーション でリフレッシュ
豊かな環境 美味しい食べ物	×	仕事&暮らしの両立	×	職住一体で 通勤の省エネ	=	移住定住人口 の増加
雪の恵み	×	除雪、雪下ろしの 負担&危険回避	×	エコハウスで 雪害予防	=	安全安心な 雪国の家